

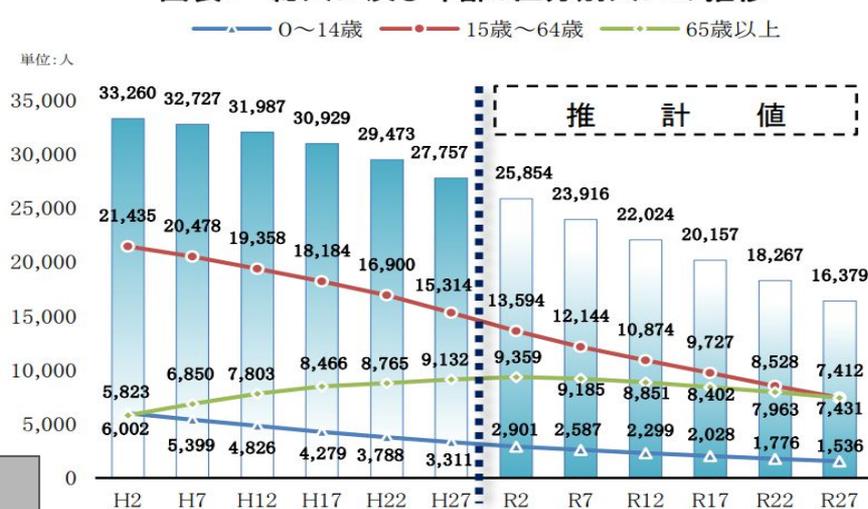
魅力がギュッと！地域の魅力再発見すごろく

山形県立長井高等学校 安部満理奈 金田結愛

(現在の長井市の課題)

- ・若者が進学か就職の際に市外に転出し 若者の地域離れが目立つ。
- ・年代別に見ると、0~14歳、15~64歳の若者世代が減少する一方で65歳以上の 高齢者世代の割合が増加し、令和2年には全人口の 35%も占めている。

図表1 総人口及び年齢3区分別人口の推移



(出典)長井市人口ビジョン

https://www.city.nagai.yamagata.jp/material/files/group/2/jinkouvision_gaiyou.pdf

そこで私たちが考えた解決法は...

長井市の食、文化、自然、行事を盛り込んだ長井市の児童、生徒用に「**すごろく**」を作成し小さい頃から地域への愛着をもってもらうことで一度市外に出たあともまた地元に戻って来てくれるのではないか！？

なぜ「**すごろく**」なのか？

利点①

ルールがシンプルで老若男女問わず誰にでもわかりやすく親しみやすい。

→小さいうちから自分の地域の良さや魅力を知ってもらい**地元愛**を育める。

利点②

友達や家族と遊んでいる中で自然とコミュニケーションがとれる。

→自分と他者の意見を比較して自ら「**考える**」ことでより理解が深まる。

利点③

継続的な学びが期待でき、次の世代へと地元愛を長期的に育める。

→プレイヤー(学習者)だった子どもが成長して、ボランティア・親としてファシリテーター(指導者)へと変貌して子どもと取り組める。

すごろく制作過程↓

①長井市役所へ訪問(6月)

長井市の食文化、行事、守り続けてきた自然について現在の観光業とどのように結びついているのか、また観光客から人気のあるものは何かをインタビューする。その後自分たちで情報を集める。

②すごろく作成(夏休み期間)

事前調査したことをもとにすごろくのマスを作る。

③長井高校生に実際に遊んでもらう(9月)

事後アンケートを実施し、私たちが作成したすごろくの良い点、改善点を答えてもらう。また、長井出身の生徒から情報の付け足しをしてもらう。

④改善→市役所の方に意見をもらう(10月上旬)

誤った情報はないか、表現の仕方は合っているかなどの視点から改善点を教えてもらう。

⑤実際に市内の学童で小学生と遊ぶ(10月下旬)

高校生と小学生と一緒にすごろくで遊ぶ。その後、簡単なアンケートに答えてもらう。

⑥振り返り、まとめ

長井市内の学童で一緒に遊んだ様子

大明神ザクラに行きたい！

古代の丘に行ってみたい！

クイズのマスを増やしてほしい

三淵溪谷に行つてカヌーしたい

クイズがあつて楽しかった！

楽しく長井のことが知れた！

最近ハマっていることは？

休日のoffタイムにお魅のお菓子を体験してみたいは...？p41

木村家のロールパンを食べて元気いっぱい2マス進むp41

三淵溪谷のカヌー体験で夏の暑さも吹き飛ばそうp13

3回ジャンプしよう

ゆっくりのんびり!なごみ庵のおもてなしを味わおうp37

最近、若者が古代の丘に集まっているらしい。それはなぜ？

長井の気になる場所を言ってみよう

じゃんけんで勝った人は1マス進む

キ自う二1

小学生が特に楽しんでたマス[↑]

小学3・4年生を対象に実施。好奇心に溢れ、積極的に参加してくれた。クイズでは友達との会話がはずんでとても楽しそうだった。事後アンケートではクイズのことを評価してくれた人が多く小学生同士でコミュニケーションを取りながらできていた。

すごろくを通して **地域の良さを再確認** できたり、**新たに地域の魅力を気づく** ことにつながった。

今後の展望

- ・長井市役所に協力を仰ぎ、市営図書館や旧長井小学校第一校舎にすでに市役所が作っているガイドブックと一緒に置いてもらう。
- ⇒図書館や旧長井小学校は、小学生の憩いの場であるため、小学生が手に取りやすい。
- ・長井市観光協会のホームページにデータを載せてもらって、気軽に遊んでもらえるようにする。
- ⇒コストがかからない、ダウンロードできるため家庭内でも実施可
- ・毎年、市役所と協力し、ガイドブックに応じて少しずつ新しくする。
- ⇒高校生の視点を組み込むことができる。高校生が長井を知るきっかけにもなる。
- ・長井高校生徒会と教員志望の生徒が、長井市内の中学校の生徒会とも協力し、市内の学童や小学校に出向き、毎年の恒例行事やボランティアとして活動する。
- ⇒学年問わず交流の幅が広がり、継続的な遊びにつながる。小学生で遊んでいた子が今度は「教える側」として中学生や高校生の視点からファシリテーターとして遊ぶ。



子どもの頃から長井市の魅力に気づくことで進学や就職で長井市を離れても、**もう一度長井市に戻り、地域を活性化してくれる若者**が多くなると思う。そのまま長井に居住し、次の世代へと自分の生まれ育った地元の良さを伝えてほしい。